

～耕作放棄地を活用した「桃の里」づくり～

神奈川県秦野市

取組主体: 菖蒲集落組合
菖蒲地区農村景観保全会

取組開始時期: 平成20年

解消面積: 1ha(平成25年12月時点)

導入作物: 桃

1. 取組のきっかけ・経緯

秦野市上地区においては、農業者の高齢化、担い手の不足等により、耕作放棄地が増加していた。そこで、地区の農家が集まり菖蒲集落組合と菖蒲地区農村景観保全会を組織し、耕作放棄地の解消活動として「桃の里」づくりの取組を開始した。

2. 取組内容

耕作放棄されていた土地に桃の苗木を植え、桃の花による景観地の形成や、果実をはじめ加工品も視野に入れて産地化することで、耕作放棄地の解消と地域の活性化を図っている。

取組当初の平成23年は、生産者7戸が苗木120本を定植、現在は、農家17戸において合計約380本を管理しており、徐々に賛同する農家が増え取組が広がっている。

3. 今後の課題・予定など

収穫した桃は、JAはだの農産物直売所「はだのじばさんず」に出荷しており、地域の営農意欲の高まりと結束力の強化につながっている。

今後は、品種を増やすなど販路拡大を検討している。

4. 活用した補助事業

- ・(国)農地・水保全管理支払交付金(補助内容:苗木購入費等)



再生後